調べものの部屋には、中高生が調べものをするのに役立つ本など約1万冊があります。その中から3か月ごとにテーマを決めて選んだ本を、ウェルカム展示として入口で紹介しています。

※このリストは、展示時点で担当者が選んだものであり、テーマに関する網羅的な資料リストではありません。

テーマ： 伝統

「伝統」と聞くと何を思い浮かべますか？信仰、風習、思想、芸術や技術など、過去から現在、そして未来へ受け継がれていく、有形無形の、私たちの身近にあるものです。国際化の時代ですが、私たちはどれぐらい日本の伝統について知っているのでしょうか。そんな「日本の伝統」をいくつかご紹介します。

▶ リストの見方

No.	書名 著者名(出版者, 出版年) 【請求記号】	【 】の中は調べものの部屋の請求記号で、日本十進分類法 (NDC) を元にしてあります。
-----	----------------------------	--

▶ 暮らしの中の伝統

1	暮らしのならわし十二月 白井明大 文ほか (飛鳥新社, 2014) 【386.1】	みなさんは年中行事をどのぐらい経験したことがあるでしょうか。この本では新年・春・夏・秋・冬の5章で日本の暮らしの中のならわしを紹介しています。今に伝わる各季節の行事や祭り、風習のルーツを探ってみませんか。
2	未来へ伝えたい日本の伝統料理。日本の食を考える 後藤真樹 著ほか (小峰書店, 2010) 【596.2】	日本各地に伝わる郷土料理を紹介するシリーズです。この本では、どのように郷土料理が生まれたのかを、昔の人たちの知恵や歴史から知ることができます。おいしそうな写真がたくさんっており、きっと作って食べたいくなることでしょう。
3	日本の装束解剖図鑑 八條忠基 著 (エクスナレッジ, 2021) 【210】	今に伝わる日本伝統の装束の数々が各時代の変遷とともにイラスト図解入りで紹介されています。十二単や直衣 (のうし) など、今でもみかける神職の装束、宮中の装束とともに有職故実 (衣食住の約束事) を紹介しています。

▶ 日本各地の伝統工芸

4	都道府県別伝統工芸大辞典：日本全国の工芸品の技と魅力発見! 宮原克人 監修 (あかね書房, 2023) 【750.2】	日本各地には、地域の特性や特産物を生かして長年作り続けられて、今に伝わる伝統工芸品が多くあります。先祖から子孫、人から人へ伝えられ、時には時代とともに変化し発展しました。職人へのインタビューとともに製造工程も紹介されています。
---	--	---

▶ 現代へ伝わる建築

5	法隆寺：世界最古の木造建築新装版 (日本人はどのように建造物をつくってきたか) 西岡常一, 宮上茂隆 著ほか (草思社, 2010) 【521.8】	誰もが知っている世界最古の木造建築である法隆寺。その解体修理にあたった棟梁と建築史家、建築科出身のイラストレーターによって、建立当時の法隆寺の建築過程をあきらかにしています。
6	五重塔の科学(B&Tブックス。おもしろサイエンス) 谷村康行 著 (日刊工業新聞社, 2013) 【521.8】	五重塔で使われた建築技術を、現代建築に応用したのが東京スカイツリーです。地震大国の日本において、長い年月倒れることなく残ってきた五重塔の耐震性に注目して科学的に論じた本です。

▶ 音楽と芸能の伝統

7	ビジュアル日本の音楽の歴史. 1 徳丸吉彦 著 (ゆまに書房, 2023) 【768】	古代から現代にいたる日本の音楽の歴史を数々の図版とともに全3巻で紹介しています。雅楽器や和楽器を使う雅楽、能楽や歌舞伎といった伝統芸能も知ることができます。
8	世界の文化遺産になった日本の伝統「風流踊」. 1 『日本の伝統「風流踊」』制作委員会 編著 (汐文社, 2023) 【386.8】	全3巻のこの本は、2022年にユネスコによって無形文化遺産として登録された41の「風流踊」を地域ごとに紹介しています。各地の盆踊りをはじめとした踊りの民俗芸能を、写真とともに知ることができます。

▶ 伝統をつなぐ

9	巨大おけを絶やすな!：日本の食文化を未来へつなぐ (岩波ジュニア新書；962) 竹内早希子 著 (岩波書店, 2023) 【583.5】	私たちの食卓でおなじみの、しょうゆ・みそ・酒。これら日本の伝統調味料づくりに欠かせない巨大な木桶づくりの技術が消えるかもしれない。その危機に立ち上がった人々の「木桶職人復活プロジェクト」の奮闘記です。伝統をつなぐことの難しさと必要性について考えさせられます。
10	正倉院のしごと：宝物を守り伝える舞台裏(中公新書；2744) 西川明彦 著 (中央公論新社, 2023) 【709.1】	正倉院は奈良時代から宝物を守り伝えてきました。宝物を守るのは宝物庫だけではなく、そこに関わってきた多くの人々の手によるものです。保存、修復、復元、これらの技術と努力によって奈良時代の宝物が今日まで伝えられてきました。

過去の展示の資料リストは、当館HP上の「ウェルカム展示」に掲載しています。 (<https://www.kodomo.go.jp/use/room/teens/exh.html>)